

10月10日に行われた
第36回「はずむ!スポーツ都市」健康のつどいの様子



あきた 市議会だより

No.164

平成28年
11月18日

- 9月定例会の概要…………… P 2～3
- 議案等に対する会派別の表決状況…………… P 4
- 一般質問…………… P 5～9
- 学生議会見学会を開催…………… P 9
- 予算決算委員会各分科会の審査から…………… P 10
- 11月定例会のお知らせ(予定)…………… P 10

発行/秋田市議会 編集/あきた市議会だより編集委員会
ホームページ <http://www.city.akita.akita.jp/council/>
右のQRコードを読み取ると、過去の議会だよりもご覧になれます。



9月定例会の概要

9月2日～10月7日

9月定例会では、秋田市学校給食費に関する条例を設定する件などの条例案12件、予算案3件、単行案2件をすべて可決したほか、平成27年度秋田市一般会計、特別会計および公営企業の決算4件を認定しました。さらに、人事案1件に同意し、議員提案による意見書案1件を可決しました。

予算

秋田中央横軸連携周遊観光促進事業

秋田市・男鹿市・大仙市・仙北市の4市が連携し、外国人個人旅行者向けの2次交通網の整備に取り組み、来訪する国内外旅行者の広域周遊観光の促進を図ります。

事業内容 4市連携2次アクセスの検討、観光資源のブラッシュアップ等
404万5千円

予防接種事業

予防接種法施行令の一部改正（28年10月1日施行）に伴い、B型肝炎の定期予防接種を実施します。

接種対象者 28年4月1日以降に生まれた1歳未満の方（28年4月1日以降に生まれ、9月30日までに接種した方に対しては、市独自に接種費用を助成）

接種料金 全額公費負担
2千993万2千円



地域おこし協力隊活用事業

29年4月から同協力隊を活動させるため、隊員を募集します。

事業内容 県合同募集説明会への参加、専門情報誌への広告等、採用面接等
199万3千円

介護ロボット等導入促進事業費補助金

介護サービス事業者が介護ロボットを導入する経費に助成し、介護従事者の負担軽減を図ります。

対象機器 マッスルスーツ、見守り支援システム等
972万9千円

水銀含有ごみ分別処理経費

水銀による環境の汚染の防止に関する法律の一部施行（28年12月18日）に伴い、家庭から排出される蛍光管等の水銀含有ごみを分別・収集運搬・処分します。

収集開始 28年12月1日から
収集方法 現在、月2回収集している空きびん、空きかん、使用済み乾電池等と同時に収集
1千410万円

総合案内フロアマネジャー業務委託経費

29年度以降の総合案内フロアマネジャー業務を委託するに当たり、プロポーザルによる事業者選定を行います。

契約期間 28年度から31年度まで
業務内容 総合案内フロアマネジャー業務、電話案内業務
債務負担行為 8千256万9千円



フロアマネジャー

災害対策本部設備高度情報化経費

国土交通省の光回線網と接続し、災害時に、ヘリコプターからのテレビ映像や河川等のさまざまな映像情報の入手等により、災害対応の確化・迅速化を図ります。

事業内容 監視映像回覧システム整備、テレビ会議システム整備
305万円



災害対策本部室

条例

秋田市学校給食費に関する条例を設定

秋田市立小学校および中学校における学校給食費を市が徴収することができることにするため、条例を設定しました。

施行期日 29年4月1日から

○単行案

高梨台市営住宅新築工事
(第2期) 請負契約を締結する件

場所 新藤田字高梨台

173番2

契約金額 1億9千764万円

契約先 住建・山建開発

建設工事共同企業体

工期 29年3月17日まで



高梨台市営住宅

○人事

人権擁護委員

伊藤 藤順子氏(再任)



平成27年度決算

一般会計および特別会計決算額

歳入決算額①	2,128億9,289万6千円
(前年度比)	(157億5,610万3千円増)
歳入執行率	97.5%(26年度96.6%)
歳出決算額②	2,096億9,247万7千円
(前年度比)	(160億9,349万3千円増)
歳出執行率	96.1%(26年度94.9%)
歳入歳出差引額③=①-②	32億41万9千円
28年度への繰越財源④	4億5,161万9千円
実質収支額⑤=③-④	27億4,880万円(黒字)



予算決算委員会の様子

○公営企業決算

下水道事業

普及状況

処理区域内面積 5千850ha

(前年度比30ha増)

処理区域内人口29万2千680人

(前年度比557人減)

普及率 92・7%

財政状況

収入では、下水道使用料がわずかな減となったほか、一般会計からの繰入金や特別利益の減などにより、総収益では前年度比3.4%の減となりました。支出では、特別損失や支払利息の減などにより、総費用では前年度比7.8%の減となり、11億925万7千円の純利益が生じ、全額を利益剰余金に計上しました。

農業集落排水事業

普及状況

処理区域内面積 625ha

(前年度と同じ)

処理区域内人口1万499人

(前年度比202人減)

普及率 3.4%

財政状況

収入では、長期前受金戻入の減などにより、総収益では前年度比1.9%の減となりました。支出では、減価償却費の減などにより、前

年度比4%の減となり、4千168万円の純利益が生じ、全額を利益剰余金に計上しました。

水道事業

給水状況

給水世帯数13万4千601世帯

(前年度比546世帯増)

給水人口 31万2千427人

(前年度比1千882人減)

普及率 99・4%

財政状況

収入では、給水収益が、前年度と比較して0.2%の減となったことに加え、特別利益の減などにより、総収益では前年度比2.2%の減となりました。支出では、特別損失の減などにより、前年度比10%の減となりました。この結果、14億8千251万3千円の純利益が生じ、全額を利益剰余金に計上しました。



藤倉水源地

議案、陳情に対する会派別の表決状況

● 9月定例会の結果

() 内の数字は所属議員数。ただし、秋水会は議長を除く。

件名	秋水会(15)	そうせ(6)	市民ク(4)	公明党(4)	フロ秋(4)	社・市(3)	共産党(2)	議決	結果
◆秋田市農業委員会の委員および農地利用最適化推進委員の定数に関する条例を設定する件	○	○	○	○	○	○	×	可決	
◆秋田市農業委員会委員候補者選考委員会条例を設定する件	○	○	○	○	○	○	×		
◆秋田市議員報酬、報酬等の額およびその支給方法に関する条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	×		
◆秋田市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○ ³ ×1	○	×		
◆秋田市市税条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○		
◆秋田市国民健康保険税条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○		
◆秋田市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例を設定する件	○	○	○	○	○	○	○		
◆秋田市母子生活支援施設設置条例を廃止する件	○	○	○	○	○	○	○		
◆秋田市学校給食費に関する条例を設定する件	○	○	○	○	○	○	○		
◆秋田市介護保険条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○		
◆秋田市廃棄物の処理および再利用に関する条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○		
◆秋田市住宅等の適切な管理による生活環境の保全に関する条例を設定する件	○	○	○	○	○	○	○		
◆高梨台市宮住宅新築工事（第2期）請負契約を締結する件	○	○	○	○	○	○	○		
◆平成28年度秋田市一般会計補正予算（第3号）の件	○	○	○	○	○	○	×	可決	
◆平成28年度秋田市市有林会計補正予算（第1号）の件	○	○	○	○	○	○	○		
◆平成28年度秋田市介護保険事業会計補正予算（第2号）の件	○	○	○	○	○	○	×		
◆平成27年度秋田市水道事業会計決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	認定	
◆平成27年度秋田市下水道事業会計決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○		
◆平成27年度秋田市農業集落排水事業会計決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○		
◆公立大学法人秋田公立美術大学が徴収する料金の上限の変更を認可する件	○	○	○	○	○	○	○	可決	
◆平成27年度秋田市一般会計および特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	×	認定	
◆人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件	○	○	○	○	○	○	○	同意	
◆地方財政の充実・強化に関する意見書提出の件	○	○	○	○	○	○	○	可決	
◆秋田市民憲章を学ぶ条例の制定について	×	×	×	×	○ ¹ ×3	×	×	不採択	
◆地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	採択	
◆ごみ袋代に加算されている「家庭ごみ処理手数料」の「無料化」について	×	○ ² ×4	×	×	○ ³ ×1	○ ² ×1	○	不採択	

★会派内で賛否が分かれた場合、賛成（○）と反対（×）の人数を数字で掲載しています。

★略記している会派の名称

「そうせ」はそうせい、「市民ク」は市民クラブ、「公明党」は公明党秋田市議会、「フロ秋」はフロンティア秋田、「社・市」は社会・市民連合、「共産党」は日本共産党秋田市議会議員団

各議員の表決状況は市議会ホームページで公開しています。

秋田市議会HP



議会の日程と議案の結果



9月市議会定例会



議員の表決状況

意見書を提出しました

秋田市議会の意見として、次の意見書を、国会および関係行政庁に提出しました。
○地方財政の充実・強化に関する意見書

平成28年11月定例会から電子表決システムにより採決を行います。

本会議での議案・請願・陳情に対する採決については、これまで、起立採決により行っておりましたが、新議場に電子表決システムを整備したことから、本会議における取り扱いについて協議を行った結果、11月定例会から本格導入することとなりました。議場内の大型ディスプレイに採決結果が表示されるため、傍聴者にも一目で分かるようになります。

一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。

秋水会

細川 信二

◇子育て環境◇県・市連携文化施設及び芸術文化ゾーン◇観光施策◇商業振興◇地域の諸課題

県・市連携文化施設

問 県・市連携文化施設の完成イメージと完成後の市内文化施設のあり方を明確にした上で公表し、市民とともに同施設をつくり上げるべきではありませんか。

答 県・市連携文化施設については、現在策定中の整備計画（案）について議会から承認を得た上で、次の段階として基本設計に着手したいと考えています。基本設計では、これまでの意見交換会等での意見を可能な限り反映させ、具体的なイメージを示すことで、市民の期待が一層高まるものと考えています。また、文化団体等の関係者との意見交換の場を設けるとともに、運営管理計画策定の際には、市民の意見を幅広く取り入れていきます。市内文化施設のあり方については、平成20年度に策定した秋田市

中心市街地活性化基本計画の方針も踏まえ、今後、中心市街地に文化施設を集約し、県・市連携文化施設やその整備を前提に活用を検討している旧県立美術館や既存の文化施設などが役割分担や連携を図ることで、一帯を芸術文化ゾーンとして充実させ、市民の利便性の向上やまちの活性化につなげたいと考えています。

子育て環境

問 ならし保育の期間を延長することはできないのですか。

答 ならし保育は、子どもが環境の変化に慣れ、保護者も職場復帰に向けた準備をするために必要であると認識しています。現在、その期間は職場復帰日を含む7日前からとしています。今後、保護者のニーズに柔軟に対応できるよう、期間を延長し保育サービスの充実を図っていきます。



そうせい

武内 伸文

◇人口減少社会への対応◇公共交通のあり方◇地域コミュニティのあり方◇中心市街地の将来像◇県・市連携文化施設◇千秋公園の整備◇スマートウエルネスシティを目指して◇子育て環境◇手話言語条例の設定等◇ロシアとの貿易◇市民力の活用◇「SAKEミュージアム」の整備◇大森山動物園

手話言語条例

問 市民に手話が言語であることを啓蒙するため、どのように取り組み、さらには今後の取り組みについてはどのように考えていますか。また、手話言語条例の設定について、どのように考えていますか。

答 本市では手話は言語であるとの認識に基づき、手話通訳者の増員、手話奉仕員養成講座の開催および市のホームページでの手話の紹介や関係団体への活動支援などを行ってきました。また、全国手話言語市区長会の設立総会に市長自ら出席するなど、引き続きさま

ざまな取り組みについて検討し、実施していきます。手話言語条例の設定については、関連施策をさらに推進するため、聴覚障がい者にとどまらず、視覚障がい者等も対象とした意思疎通手段の利用促進に向けた条例を、本年度中に設定したいと考えています。

「SAKEミュージアム」

問 中心市街地に「SAKEミュージアム」を整備し、インバウンドへの対応や市民のコミュニティスペースを創出する考えはありませんか。

答 中心市街地を会場に、民間事業者が主体となり開催している、お酒をメインとした各種イベントは、認知度も高く毎回幅広い世代が多数集まることから、中心市街地の活性化やにぎわいの創出に一定の効果をもたらしていると認識しています。提案の中心市街地への「SAKEミュージアム」の整備についても、既存のイベントと同様に、民間事業者の発意を見守っていきたいと考えています。

■ 請願・陳情の提出について

請願書・陳情書は趣旨を具体的に記載し、提出年月日、提出者（代表者）の住所を記載、氏名については署名または記名押印の上、次回11月定例会においては、招集日の2日前（市の休日は算入しません）の11月24日午後5時までに議長あてに提出してください。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。議会事務局議事課 電話（888）5784

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問

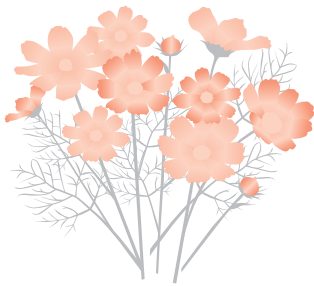
公明党
武田正子

◇災害に強いまちづくり◇女性の活躍の推進◇障がい福祉◇外国人児童生徒への日本語指導◇がん対策等◇18歳選挙権

外国人児童生徒への日本語指導

問 秋田市教育ビジョンに外国人児童生徒教育を位置付け、学校教育の一環として取り組む姿勢を明確にするべきではありませんか。

答 外国人児童生徒教育については、これまでもグローバル化に対応する教育の一環として取り組んできており、現在策定中の新たな秋田市教育ビジョンに明確に位置付けることとしています。



災害に強いまちづくり

問 想定外の大規模な災害に対する事前防災に、どのように取り組んでいますか。

答 想定外の災害に対しては、ハード対策では限界があるため、自らの生命は自らを守る「自助」、地域で助け合い、互いを守る「共助」が大事であることから、さまざまな機会をとらえ、市民の防災意識の高揚に努めていきます。また、近年の大規模災害を踏まえ、国や県が、「想定外をつくらない」ことを目指して、洪水や津波の浸水想定区域の見直しを行っていることから、本市においても、新たなハザードマップを作成し、全戸配布する予定です。



秋田市総合防災訓練の様子

フロンティア秋田
倉田芳浩

◇社会福祉法人の指導監査等◇環境問題◇予防接種事業◇人工芝整備施設の利用等◇県・市連携文化施設等◇新庁舎◇市道の改修◇市政の諸課題

予防接種事業

問 予防接種の初診料と乳幼児加算の重複請求は見直すべきではありませんか。

答 予防接種の同時接種を行う場合、医師は診察により接種の可否を慎重に判断し、接種後の注意事項を説明するなどの医療行為をワクチンごとに行うため、1種類ごとの委託料が必要であると認識しています。本市としては、今後、国から同時接種における単価設定の考え方が示された際には検討していきます。

市政の諸課題

問 都市計画の変更等、市の重要な意思決定プロセスに関しては、きっかけから決定に至るまでの情報を記録しておくべきではありませんか。

答 本市では、公文書管理条例に基づき、その経緯も含めた意思決定に至る過程および事務事業の実績を合理的に調査し、検証することができるよう公文書を作成することとしています。また、市民生活に影響を与える、重要な施策に関する意思決定を行う会議については、会議録を作成することとしています。

(仮称)土崎みなと歴史館

問 同歴史館の完成後、ねぶり流し館の展示物に大幅な入れ替えはあるのですか。

答 同歴史館の完成後、ねぶり流し館に展示している土崎神明社祭の曳山については移転を予定しています。ねぶり流し館が、本市の民俗芸能の全体像を紹介する施設であることから、今後も曳山については、ホール壁面などに歴史や行事の流れを分かりやすく展示し、ユネスコ無形文化遺産への登録が期待されている曳山の魅力を発信していきます。

■ 本会議を生中継しています

本会議は、秋田ケーブルテレビ（デジタル102ch）と、市議会ホームページの動画配信により、全日程を生中継しています。開始時間は、午前10時を予定していますが、都合により遅れることもありますので、ご了承ください。

11月定例会の本会議は、11月28日、12月7日、8日、9日、20日に開催予定です。

一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。

市民クラブ
安井誠悦

◇秋田市国民保護計画◇ごみ
のない持続可能な高度循環型
社会◇ねんりんピック秋田2
017の準備状況◇県・市連
携スポーツ施設◇農業委員会
制度改革◇自殺対策基本法の
改正

自殺対策基本法

問 今年4月に施行された
自殺対策基本法の改正は、
本市の自殺対策にどのよう
な影響を与え、また、その
改正を踏まえ、これからの
自殺対策をどのように推進
していくのですか。

答 本市では、これまで独
自に策定した「秋田市自殺
総合対策事業計画」により
自殺対策に取り組んでしま
したが、今後は自殺要因の
解消に向けた環境整備や関
連施策との有機的な連携な
どについて、充実・強化を
図らなければならぬと考
えています。今回の法改正
で策定が義務付けられた自
殺対策計画については、改
定後の自殺総合対策大綱お
よび県の計画などを勘案し、
策定していきます。

県・市連携スポーツ施設

問 ブラウブリッツ秋田の
スタジアム整備について、
県との協議内容はどのよう
なもので、検証をどのよう
に行ったのですか。また、
整備の是非も含め、方向性
を検討する検討委員会を、
県と有識者を交えて設置す
る考えはありませんか。

答 県との協議、検証につ
いては、県とともに先進事
例調査を行ったほか、県が
独自で検討した整備手法や
整備費用の積算などの情報
を共有するなど、基礎資料
の収集に努めているところ
です。検討委員会の設置に
ついては、ブラウブリッツ
秋田が、自ら新スタジアム
構想を立案すべきとらえ
ており、本市としては、県
民・市民や地元企業の機運
の盛り上がりや踏まえなが
ら、県とともに行政の役割
や支援のあり方について検
討したいと考えています。



ブラウブリッツ
秋田

社会・市民連合

長澤孝政

◇地方財政の充実・強化◇豪
雨による浸水被害対策◇環境
対策◇市内の小中学校へのエ
アコン設置◇消防体制の充実
◇職員のストレス対策

小中学校へのエアコン設置

問 市内の小中学校へのエ
アコン設置について年次計
画を立てて、設置を進める
べきではありませんか。

答 現在、すべての小中
学校の保健室および小中学校
合わせて39校のコンピュー
ター室にエアコンを設置し
ています。学校施設の整備
については、老朽化した施
設の機能回復やトイレ改修
が急務であり、普通教室等
へのエアコン設置に関して
は事業化に至っていません
が、学校施設長寿命化計画
の見直しの中で、財源も含
め設置の可能性について検
討していきます。



水銀対策

問 今後、本市ではどのよ
うに水銀製品を回収し、処
分するのですか。

答 現行の条例では、家庭
から出るごみの収集区分を
「家庭ごみ」「資源化物」
「粗大ごみ」の3区分とし
ておりますが、新たに、蛍
光管や水銀体温計などの
「水銀含有ごみ」を4つ目
の区分として加え、12月1
日からの施行を目指す条例
改正案を、9月定例会に提
出しています。収集方法に
ついては、空きびん、空き
缶の収集日と同日に、購入
時の包装用の箱などに入れ
た後、透明な袋に入れ、ご
み集積所に出していただく
こととしています。また、
収集後は、国内の所定の処
理施設に適正な処分を委託
することとしています。な
お、今回の収集区分の変更
は、市民にとって14年ぶり
の変更となることから、広
報あきたはもとより、11月
に全戸配布予定の「ごみの
分け方・出し方引き」、
市政テレビ・ラジオ、新聞
その他のさまざまな広告媒
体を通じて周知に努めてい
きます。

議会の動き

8月30日 議会運営委員会
9月2日 9月定例会
(10月7日まで)
10月7日 議会運営委員会
編集委員会

10月24日 総務委員会行政視察
厚生委員会行政視察
(10月26日まで)
10月27日 議会運営委員会
各派会長会議

11月1日 編集委員会
11月8日 教育産業委員会行政視察
建設委員会行政視察
(11月10日まで)

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問

秋水会

伊藤 一 榮

◇商工業の振興◇農業振興◇交流人口の拡大と移住促進◇環境行政◇福祉行政◇若い世代の育成支援◇市有財産等◇市民サービスセンター等◇地域の諸課題

農地中間管理事業

問 農地中間管理事業の現状と課題はどうか。

答 同事業については、公益財団法人秋田県農業公社が業務を行っています。本市においては、離農者からの借り入れを中心に、約300ヘクタールの農地を集積し、意欲ある担い手に貸し付けしています。一方で、本事業の内容が広く周知され、貸付希望農地が増加する中で、中山間地等の条件の悪い農地のみならず、比較的條件の良い農地であっても、借り手がつかない事例も増えていることから、借り手の負担軽減を図るための環境整備が必要であると考えています。



圃場整備

問 圃場整備の現状と課題および今後の進め方はどうですか。

答 本市の30アール以上の圃場整備率は約40%であり、平成30年度には雄和平沢地区が完了予定です。平成29年度には、上北手大戸百崎ほか1地区が事業採択予定であり、その他仁井田四ツ小屋北地区など6地区においても調査計画が進められています。圃場整備は、地権者の百パーセント同意のほか、法人化や担い手の集積等が事業採択の重要なポイントであることから、将来の営農ビジョンについて、各地区で合意形成を図りながら、県・土地改良区と連携し早期に事業採択されるよう支援します。



雄和平沢地区圃場整備区域

秋水会

熊谷 重隆

◇市長の政治姿勢◇市政運営◇参議院議員通常選挙における選挙啓発

中心市街地の活性化とにぎわいの創出

問 佐竹史料館を旧県立美術館に移転することが望ましいのではありませんか。

答 中心市街地に文化施設を集積し、各施設の特徴を生かしながら役割分担や連携を図ることで、広小路・仲小路から千秋公園に至る一帯を「芸術文化ゾーン」として充実させたいという観点から、旧県立美術館については、現県民会館所在地に県・市連携文化施設を整備することを前提に、その立地環境と内部空間の魅力を生かし（仮称）芸術文化交流施設として市民の文化活動や交流の場とするのが望ましいと考え、活用を検討しています。佐竹史料館については、老朽化や狭隘化の課題があるため、来年度予定している千秋公園再整備基本計画の見直しにあわせ、現地での改築を前提に検討していきます。

秋水会

熊谷 重隆



佐竹史料館

農業施策

問 米に依存した農業からの脱却を本市も進めていますが、畑作などの複合経営が難しいとされる小規模農家をどう支援していくのですか。

答 活力ある地域社会や農村風景の維持のためには、農地保全の一端を担う小規模農家の役割も重要であることから、農地の利用集積や農機具の共同利用による作業の効率化を推進するとともに、意欲ある農家に対しては、環境保全型農業に係る園芸作物の機械導入等に対する助成を行っており、引き続き支援していきます。

■ 本会議の傍聴について

本会議は、ケーブルテレビで生中継、インターネットで生中継および録画配信しております。傍聴されている方も映る場合がありますのであらかじめご了承ください。議場には、磁気ループシステムを設置しています。補聴器をお使いの場合は“T”モードに切り換えてください。また、専用受信機も用意していますので、希望される方は傍聴受付にお申し出ください。

一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。

秋水会

工藤 四郎

◇市長公約◇第13次秋田市総合計画等◇人事行政◇国民健康保険◇第2期秋田市中心市街地活性化基本計画◇空き家対策◇国際教養大学とのかわり

第13次秋田市総合計画等

問 総合計画、秋田市人口ビジョンおよび秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の関係はどのようになっていますか。また、総合戦略に掲げる基本目標が達成された場合、人口減少対策として成果を挙げることができるとは思いますか。

答 人口ビジョンは、本市の人口の推移を把握し、その背景を分析することにより、目指すべき将来人口と人口減少に対する今後の取り組みの基本的視点を示したものであり、総合戦略は人口ビジョンを踏まえ、人口減少対策的を絞り、総合計画から、必要な施策等を取り込み、策定したものです。総合戦略には、5つの基本目標ごとに、合計特殊出生率や市外への転出超

過の改善などの数値目標を掲げていますが、これらを達成することが人口減少対策に資するものと確信しており、その達成に向け、全庁一丸となって取り組んでいきます。

第2期秋田市中心市街地活性化基本計画

問 同計画を推進するためには、民間事業者を支援しない限り成果が上がらないと思えますが、民間事業者を支援する考えはありますか。

答 同計画においては、商店街など、民間事業者による事業を多数位置付けることとしており、事業の実施において、民間事業者への支援は必要なものであると認識しています。民間事業者による事業のうち、国による補助事業に該当する事業は、補助制度の活用を促し、制度活用における支援を行うとともに、市単独の補助についても、関係部局と協議しています。



学生議会見学会を開催しました

議会活性化の取り組みとして、平成28年8月26日に、大学生を対象にした学生議会見学会を行いました。

議会ホームページ等での公募により、9人の学生が参加し、議場、委員会室などを見学した後、市議会議員との意見交換を行いました。



参加者からは「市議会に興味を持った」、「普段は見ることのできない場所を見学できた」、「議員を身近に感じた」などの声が寄せられ、大変好評でした。



行政情報アプリ「マチイロ」について

スマートフォンやタブレット端末用の広報紙閲覧アプリ「i広報紙」が「マチイロ」にサービス名称を変更しました。新たな機能も追加され、さらに便利になりました。

※マチイロ公式サイト <http://machihiro.town/>



予算決算委員会各分科会の審査から（平成27年度決算について）

予算決算委員会 総務分科会

総務部、企画財政部、会計課、消防本部などの所管事項

委員 河辺消防署本署改築事業および河辺消防署雄和分署改築事業について、両署が改築されたことによる成果はどうですか。

消防本部

現在、両署は

秋田南消防署の分署となっ
ていますが、両事業の成果
として、河辺分署では、屋
外訓練スペースが確保され
たことで、消防職員のみな
らず、消防団員も訓練が可
能になったことや、2階に
研修室を設けたことで各種
講習会の開催が可能になり
ました。また、雄和分署で
は、幹線道路に面する場所
に設置されたことから、出
動の迅速性がより確保され
ました。加えて、両署を改
築し、職場環境が整備され
たことによ
り、地域の
消防力の充
実が図られ
たものと考
えています。



予算決算委員会 厚生分科会

市民生活部、福祉保健部、保健所、子ども未来部の所管事項

委員 保育士人材確保推進事業について、資格を有しながら保育士として就労していない潜在保育士を対象にアンケート調査を実施していますが、その結果はどうですか。

子ども未来部

アンケー

ト調査に回答した885人のうち、市内在住の潜在保育士の数は107人でした。そのうち63人は現在保育士以外の仕事に就いている方々で、44人は職に就いていない方々となっておりましたが、107人全員から保育士人材バンクに登録してもよいとの回答を得ていることから、これらの方々については、今後、保育士として働いていただける可能性があるものと考えています。



予算決算委員会 教育産業分科会

観光文化スポーツ部、産業振興部、教育委員会、農業委員会の所管事項

委員 動物園名譽園長招へい事業について、その効果と課題はどうですか。

観光文化スポーツ部

平

成27年度は、講演会や動物園のイベント参加など計4回招聘しました。5月にウエスターで開催した講演会では、450名の市民に参加いただき、講話を聞いた小学生から将来獣医になりたいといった声も聞かれるなど、子供達に夢を抱いてもらえるような講演会であったことなどから、十分成果は上がっていると考えています。課題としては、名譽園長が参加するイベントのPRが一部で不足していたと考えているため、引き続きPRの充実にも努めていきます。



高木美保名譽園長講演会の様子

予算決算委員会 建設分科会

環境部、建設部、都市整備部、上下水道局の所管事項

委員 バス交通総合改善事業について、マイタウン・バスは地域住民の足となるものでその重要性は認識していますが、多大な事業費を要していることから、今後は事業費の圧縮が必要なのはありますか。

都市整備部

マイタウン・

バスは本市の郊外部において運行していることから、運行距離が長く燃料費等の経費が多くかかることに加え、ダイヤ編成の上では一定数の車両や運転手を確保する必要があり、現行の運行形態では事業費を大幅に削減することは困難であると考えています。しかしながら、事業費が多額に及んでいると認識していることから、今後は、定時定路線型での運行をデマンド型に変更するなどの手法も検討しながら、できる限り事業費を圧縮することについて検討したいと考えています。

11月定例会のお知らせ（予定）

日 程

11月28日 本会議
12月7日～9日 本会議「一般質問」
12日～14日 常任委員会・分科会
16日 常任委員会
20日 本会議

一般質問予定者

安井正浩、川口雅丈、
齊藤善悦、小木田喜美雄（秋水会）
宇佐見康人、小松健（そうせい）
花田清美（市民クラブ）
成沢淳子（公明党）
佐藤善治（フロンティア秋田）

次回のあきた市議会だよりは平成29年2月3日発行予定です。



※秋田市議会では、本会議、常任委員会、分科会などの傍聴ができます。日程および一般質問予定者は変更になることがありますので、議事事務局までご確認ください。